

# h ニュースレター



事務局: TEL.095-820-4978 FAX.095-820-4377 ホームページ <http://www.nagasaki-vs.jp>

## 新理事 就任あいさつ



新理事 大西 由紀子

長崎県弁護士会所属の弁護士大西由紀子と申します。弁護士会の犯罪被害者支援委員会等で犯罪被害者支援活動に取り組む中で日々、勉強をさせていただいております。

弁護活動としては法テラスから精通弁護士として事件の配点を受けて犯罪被害者に関する事件を受任したり、一般の法律相談で犯罪被害者やそのご家族から事件処理に関する依頼を受けるということがほとんどでした。

今後は、長崎被害者支援センターでさらに犯罪被害者支援に関わる機会が多くなることとなりますので、やりがいとともに重責を感じております。

私は弁護士という立場で被害者等を支援するため、その支援の方法、範囲はある程度限られたものになります。つまり、弁護士は法律の専門家として、「代理人」という立場で、加害者に対する被害弁償の交渉を行ったり、昨年12月から施行された犯罪被害者等参加制度による、刑事裁判の被害者参加を行います。

そうした中で弁護士による二次被害は絶対に避けるべく、臨床心理士の先生による被害者支援に関する研修を弁護士会で定期的に行い、聴講させていただいております。

司法試験を受験していたころから、特に犯罪被害者問題、児童虐待問題に強い関心がありました。弁護士登録時からこれらの活動を今のところ、大きな弁護過誤もなく続けることができいております。

遅ればせながら自己紹介をさせていただきますと、私は奈良県出身で、平成16年に司法修習生として長崎県で生活するまで、長崎県はおろか、九州地方とは縁もゆかりもありませんでした。

大学は兵庫県西宮市にある関西学院大学出身で、米大リーグの田口壮選手やマナカナの双子姉妹が先輩後輩になりますが、両者とも学年が離れており、全く接点はありません。

実家は北葛城郡広陵町というところで、比較的規模の大きい古墳群の町です(町名からもお分かりのとおり)。地元の小学校に通っていたころ、柔道の野村忠宏選手と5、6年生時、同じクラスだったというのが自慢です。

奈良育ちの私にとって、長崎の魅力は鮮魚と温泉です。多忙な生活の中でも昼食付き温泉プランを利用することで精気を養っております。

被害者支援は毎回、手探り状態ですが、今後は支援センターのみなさまからのご指導を受けながら、支援活動に関わりたいと思います。非力ではございますが、今後ともよろしくお願いいたします。

電話  
相談



**(095)-820-4977**

毎週火～土曜日 / 10:00～16:00

秘密厳守  
相談料無料

面接相談: 電話相談の上、予約が必要となります。必要に応じて弁護士・臨床心理士の面接相談も行います。

# 平成20年度事業報告及び収支決算書

## 平成20年度収支決算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

□ 収入 (単位:千円)

勘定科目	決算額
会費収入	1,912
寄付金収入	3,299
補助金等*	10,500
雑収入	294
前期繰越金	1,793
計	17,798

\*補助金等のうち助成金500万円は、平成21年度で終了いたします。

□ 支出

勘定科目	決算額
事業費	10,062
管理費	6,267
その他支出 (移転関連等)	1,469
計	17,798

## 平成20年度事業報告書

□ 会議、研修会等開催状況

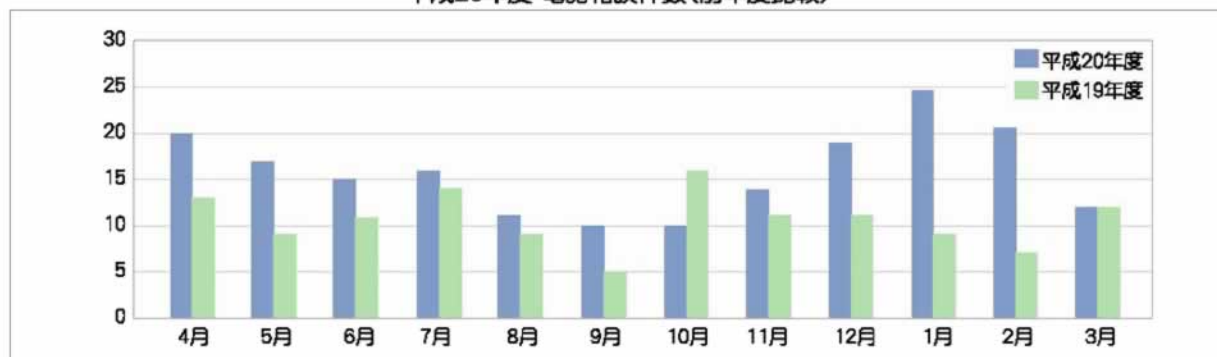
臨時総会	1回
理事会	3回
運営委員会	11回
研修会	7回
講演等	16回
養成講座	6回
継続研修会	10回
自助グループ開催	10回
その他関係機関会議等	10回

□ 普及啓発活動等

地域別相談会(五島市、佐世保市)	2回
街頭宣伝活動等(パネル展示・リーフレット配布など)	7回
新聞・TV等への広告掲載	6回
ニュースレター発行(9月、3月)	2回
学校巡回講演(詳細はP5参照)	23校

## 平成20年度相談支援実績報告

平成20年度 電話相談件数(前年度比較)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成20年度	20	17	15	16	11	10	10	14	19	25	21	12	190
面接相談	1	2	2	0	4	3	3	7	6	3	5	7	43
直接支援	1	1	1	0	0	0	1	3	6	3	3	8	27
計	22	20	18	16	15	13	14	24	31	31	29	27	260

### 被害類型別電話相談、面接・直接支援件数

	殺人	強盗	強姦	強姦性犯	暴行傷害	DV	死亡事故	交通事故	ストーカー	セクハラ	いじめ	その他	計
電話相談	0	1	16	7	17	8	2	14	2	0	5	118	190
直接面接支援	4	0	13	1	14	6	11	7	1	0	0	13	70
計	4	1	29	8	31	14	13	21	3	0	5	131	260

○電話相談:前年と比較するに63件増加。特に12月以降に増加がめざち、これは12月に早期援助団体に指定された広報効果によるものと思料される。種別で言えば、強姦事件・暴行傷害事件の相談が増加した。

○面接相談:前年より18件増加した。これは8月の事務所移転に伴い相談室が出来たことから支援員面接が増えたもの。

○直接支援:前年より7件増加。警察付添い、病院付添いが減少したものの、行政機関等への付添いが増加した。

○その他:昨年12月に早期援助団体の指定を受け、今年3月に警察からの情報提供を受け支援を実施。今後、情報提供に基づく支援増加が予想される。

# 平成21年上半期活動報告

## 広報活動

- 1月16日……………長崎県警察年頭視閲式でパネル展示及び広報グッズ配布
- 2月28日……………長崎県警察音楽隊第19回定期演奏会会場で  
パネル展示及びリーフレット等広報グッズ配布(2000部)
- 3月末……………ニュースレター10号発行
- 5月16日～17日…KTNの日会場で、パネル展示及び  
広報グッズ配布(1000部)
- 6月20日……………安全・安心まちづくりアカデミア  
ながさき会場でパネル展示及び  
広報グッズ配布(島原市)



## 講演会等

- 2月24日……………佐世学園講話「被害者の心の傷、その回復過程、加害者に対する思い等」
- 2月27日……………宮崎犯罪被害者支援センター  
「事件・事故等の被害者及びその家族または遺族に対するカウンセリングの実施等について」
- 3月4日……………島原地区保護司会研修会
- 3月10日……………福岡少年院講話「犯罪被害者の実情と被害者支援に関する制度の現状や課題について」
- 5月12日……………長崎県警察学校(被害者支援・警察安全相談専科)  
「民間被害者支援団体の犯罪被害者支援活動について」

## 研修・養成・会議等

- 2月7日～8日……九州・沖縄ブロック研修会(大分県) 3名参加
- 2月19日……………NPOと県(子ども家庭課)  
との情報交換会
- 1月～6月……………現役相談員継続研修会
- 5月13日……………第8期生養成講座開講式  
※支援を目指し8名の方が講座を  
受講。9ヶ月間長いですが頑張っています！



## 寄付金贈呈式

- 1月28日……………長崎県遊技業協同組合  
「社会還元寄付金贈呈式出席」



※当センターの設立趣旨と活動に賛同され、理事及び協会会員等約50名出席のもとに贈呈式が行われた。

- 5月7日……………雲仙市役所寄付金贈呈式出席



※県内行政機関としては初めて、雲仙市役所役職員一同による募金の贈呈式が雲仙警察署において、行われました。

## 第6回通常総会と会員向け講演会を開催

- 5月29日……………総会終了後、毎年恒例の会員向けに新理事大西由紀子弁護士が「被害者参加制度・損害賠償命令制度について」を分かりやすく、お話しいただきました。



# 平成21年度事業計画

## 事業目標

犯罪被害者等早期援助団体として、被害者援助活動の早期実施と、被害者等が安心して援助を依頼できる活動の活性化並びに、財政基盤の整備や県内の学校巡回講演活動に取り組みます。具体的な内容は以下の通りです。

- 付き添いなどの直接支援(自宅訪問・病院・裁判所等への付き添い)の充実
- 正会員・賛助会員の拡充と資金援助のための企業訪問活動
- 人権教育の一環として、中学・高校を訪問して「心と命の大切さ」の講演活動
- 地域別相談会・講演会を開催することによる広報活動の強化

## 行事予定

### ①「命と犯罪被害についての講演会」と「地域別相談会」を開催いたします。(秘密厳守・相談 無料)

〈相談担当者〉：弁護士・臨床心理士・支援相談員など

○事件や事故に遭われた被害者や、その家族等の置かれた立場・実情と被害者支援について講演を行います。

○講演終了後、被害者やその家族等を対象にした、弁護士や臨床心理士等の専門家による面接相談を行います。  
(秘密厳守です)

場所・日時	場所	日時
	諫早市	8月19日(水) 13時00分～16時30分 …(講演会/13:00～14:00) 諫早市黒崎町 小野公民館 ……………(相談会/14:00～16:30)
	時津町	10月15日(木)13時00分～16時30分…(講演会/13:00～14:00) 西彼杵郡時津町 時津町役場……………(相談会/14:00～16:30)

### ②研修会等

- 九州沖縄ブロック研修会(直接支援に携る支援員の育成を目的)
- 全国被害者支援ネットワーク主催秋季研修会(電話相談支援員の育成を目的)
- 全国被害者支援ネットワーク主催研修会(直接的支援員の育成を目的)
- 各種講演・講義など
- 相談員継続研修(相談員の知識・技術向上を目的に毎月開催)
- 支援ボランティア養成講座(ボランティア相談員の養成 21/6～22/2迄・月2回実施)

### ③街頭宣伝活動等(8月以降)

開催日	場所	時間	内容
8月1日(土)	とぎつカナリーホール(時津町)	10時～11時50分	時津町安全安心まちづくり
9月16日(水)	長崎駅前(長崎市)	12時～13時	県警音楽隊プロムナードコンサート会場でのリーフレット配布等
9月18日(金)	セントヒル長崎(長崎市)	14時30分～16時	被害者支援特別講演(詳細は5頁参照)
10月13日(火)	アルカスSASEBO(佐世保市)	13時30分～15時30分	地域安全・暴力団追放運動「安全・安心まちづくり」長崎県大会でパネル展示等
11月18日(水)	長崎駅前(長崎市)	午後	犯罪被害者週間キャンペーン(広報グッズ等配布・パネル展示)、県警音楽隊プロムナードコンサート
11月28日(土)	長崎交通産業ビル4階(長崎市)	11時～、13時半～	「駅前じんけん映画館」犯罪被害を語る人形劇DVD
12月12日(土)	島原市文化会館(島原市)	10時～16時半	人権フェスティバル参加(パネル展示・DVD放映・広報グッズ配布及びアンケート等)
平成22年2月27日(土)	ブリックホール(長崎市)	14時～16時	長崎県警察音楽隊定期演奏会(パネル展示・リーフレット配布・募金活動ほか)

## 心と命の大切さを訴える講演事業の推進状況

平成20年度から人権教育の一環として、長崎県・長崎県警察本部の後援を受けて  
 ○中学・高校生を対象とした「心と命の大切さを培う」巡回講演事業  
 ○県民を対象とした特別講演事業  
 を行っています。

この事業は、講演を通して「心と命の大切さ・いじめ・暴力のない社会の必要性及び犯罪被害者の人権等を学び一人一人の人間を大切にすること」を探求する内容となっています。

これまでの推進状況については下記のとおりです。

### ●中学・高校生を対象とした巡回講演事業

	公立高校	私立高校	公立中学校	私立中学校	合計
20年度	5校	3校	15校	0校	23校
21年度	7校	0校	8校	0校	15校

※平成21年度は(H21.4/1～7月末現在)

### ●特別講演事業(平成20年度)

11月30日、長崎市築町「メルカつきまちホール」において、長崎被害者支援センター 塩飽理事長、長崎県警察本部警務課被害者支援室 渡邊室長の挨拶の後、東洋大学東洋学研究所客員研究員 文学博士 三浦宏文さんが「かけがえのない固有名へ・絶対弱者たちとの出会いから」の演題で、どのようにしたら犯罪を防ぐことが出来るかを講演されました。

### ●その他の講演(平成20年度)

長崎市内の大学校、長崎県警察学校、長崎市教育委員会(心の教育研修会)、島原地区保護司研修会等合計7回の講演会を行いました。

### 21年度行事予定

### ●中学・高校生を対象とした巡回講演事業

12月の人権週間に向けて、中学・高校から講演申し込みが来ていますので、日程を調整しながら順次開催して行く予定です。

### ●その他の講演

順次、受付で日程を調整しながら開催します。

## 犯罪被害者支援特別講演事業

命の大切さを考える講演会&歌とギターによる  
 「命のうた」コンサート  
 ～被害者も加害者もない地域社会実現のために～

日時	9月18日(金) 14:30～16:00(14:00開場)
場所	ホテル セントヒル長崎 2階(長崎駅徒歩5分) 長崎市築後町4-10 電話095-822-2251
内容	講演/「ないがしろにされてきた犯罪被害者の人権」 講師:塩飽志郎(弁護士) 演奏会/歌とギターによる「命のうた」のコンサート 出演者:ギター/山口 修 歌/山口 純子 タイトル/「命のうた」 曲 目/禁じられた遊び・千の風になって・生きるもののうた 他



入場料 無料 ※事前に申し込みが必要(申し込み先:電話095-820-4978 F A X 095-820-4377)

# 皆様からの温かいご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

芳名掲載をご了承いただいた方・団体のみを掲載致しました。順不同。敬称略。  
平成21年2月1日～8月17日現在。

## 団 体

### 〔長崎市〕

浦上地区金融機関防犯協会  
浦上地区職域生活安全協議会  
大浦地区交通安全協会  
西部ガス(株)長崎支社  
長崎制御システム(株)  
長崎県医師会  
長崎魚市(株)  
(財)長崎県交通安全協会  
長崎電気軌道(株)  
長崎文化放送(株)  
長崎養育サービス(株)  
西日本養蚕興産(株)  
浜市商店連合会  
マツ/ハヤ石油(株)  
大浦地区金融機関防犯協会  
大浦地区暴力追放運動推進協議会  
大洋技研(株)  
長葦設計(株)

長葦ソフトウェア(株)  
(社)長崎県歯科医師会  
長崎ダイヤモンドスタッフ(株)  
林医院  
矢上藤尾大坪外科胃腸科

### 〔佐世保市〕

(株)橋高  
西部ガス(株)佐世保支店  
佐世保卸団地協同組合  
佐世保青果(株)  
佐世保市タクシー協会

### 〔島原市〕

島原商工会議所  
(株)丸政水産  
(株)ポスコ  
(医)社団威光会松岡病院  
(社)島原市医師会  
島原食糧販売(株)

### 〔諫早市〕

諫早ケーブルテレビジョン放送(株)  
(株)宮崎電機工業  
(医)横尾病院

### 〔西海市〕

黒瀬建設(株)  
西海地区警察官友の会

### 〔松浦市〕

(社)北松浦医師会  
東興産業(株)  
西日本プラント工業(株)松浦事業所

### 〔壱仙市〕

九州フコール製造(株)  
(株)にくせん  
有明養院  
特定非営利活動法人  
障がい者後見・支援センター  
「あんしん家族」  
日本料理(株)

壱仙警察署 警親会  
壱仙市警察官友の会  
小浜温泉観光協会  
NPOサポートネットワーク

ながさき  
(社)南高愛隣会  
長崎能力開発センター

### 〔杵崎市〕

杵崎市防犯協会連合会  
(医)協生会 品川病院

### 〔川棚町〕

川棚地区警察官友の会

### 〔新上五島町〕

五島ライオンズクラブ

### 〔滋賀県〕

近江鍛工(株)

## 個 人

### 〔長崎市〕

石丸 アサ子  
石丸 太郎  
今井 忠之  
大坪 義昌  
大坪 嘉昭(内科大坪クリニック)  
鎌原 行雄  
栗原 重忠  
柴田 國義  
鈴木 弘之  
高田 英敏  
本田 哲士  
宮村 廣剛  
目良 公子  
山川 優佐雄(山川クリーニング店)

浦川 一孝  
川上 展伸  
田平 朝子  
友廣 良満  
永友 千恵子  
山中 修二  
近藤 誠((有)割烹かなやま)

### 〔島原市〕

山本 篤五郎

### 〔諫早市〕

尾下 進  
小林 晴明  
増永 恵以子

松藤 光男((株)宮崎電機工業)

森 誠司  
山口 康宏  
谷口 依難子  
葛薄 悟  
高山 浩栄

### 〔松浦市〕

押淵 英展  
小村 信和

### 〔西海市〕

西村 金造  
濱田 博之

### 〔壱仙市〕

佐藤 公泰(佐藤医院)

長田 郁夫  
山下 浩一  
前田 康弘  
〔杵崎市〕  
JA杵崎市共済課  
平田 タカ子

### 〔時津町〕

今道 友子  
川内 治利  
深松 元栄

### 〔長与町〕

相川 光正  
小川 正幸  
斉藤 誠

## 寄 付

### 〔長崎市〕

竹口 清  
長崎地区警察官友の会  
長崎県警察本部犯罪被害者支援室  
本多 朗  
横田医院  
高田 英敏  
長崎北ロータリークラブ  
(財)長崎県警察職員互助会  
長崎県弁護士会 犯罪被害者支援委員会  
株式会社 にしけい 長崎支社  
濱洲 謙子  
(株)平和町駐車場  
益田 耕作  
(株)東洋ガス  
渡邊 雅生  
タイハイ(株)

### 〔佐世保市〕

佐世保市警察官友の会  
井上 哲朗  
権元 毅

### 〔島原市〕

安永 弘幸

### 〔諫早市〕

諫早西ロータリークラブ  
(有)福田屋  
池田 光利  
(株)森陽発 森 強

### 〔大村市〕

江越 道生  
大村警察署

宮田 雄吾

### 〔松浦市〕

(有)佐世保警備 松浦営業所  
西日本魚市(株)  
(社)松浦魚市場協会  
押淵 英展  
中興化成工業(株)松浦工場

### 〔壱仙市〕

壱仙警察署  
三貴工業(株)  
一妙寺 森下晃英  
壱仙市役所役職員一同  
草野 進  
(有)クリーン工業 平野泰斗  
食楽 大盛

(株)にくせん  
森 政重

〔杵崎市〕  
杵崎警察署署員一同

### 〔対馬市〕

対馬南警察署

### 〔五島市〕

五島警察署

### 〔時津町〕

日本紙器(株)

### 〔長与町〕

松尾 隆

## 正 会 員

### 〔長崎市〕

岩永 眞智子  
太田 保之  
大塚 俊弘  
川添 志  
濱野 直之

塩飽 志郎  
せとぐち医院  
瀬戸口 智彦  
永田 吉朗  
安部 俊二  
大西 由紀子

松永 公隆

### 〔佐世保市〕

中野 明人

### 〔南島原市〕

本田 龍一

### 〔時津町〕

永田 耕司

### 〔長与町〕

荒木 かをり  
山口 佳英

※このほかにも、賛助会員や寄付者の方で掲載を希望されない方40名

## 「関係機関との連携を深めながら…」

「コン、コン」と、センターの事務所のドアを叩く音がした。開けてみると、「こんにちは。近くまで来たので寄ってみました。」と明るく話す女性が立っていた。

一瞬、私は驚いてしまった。表情も明るく声もはっきりしていて、1年近く前に相談に訪れた彼女とは思えなかったからである。彼女は他の相談機関から紹介され、当センターに電話をかけてきたDV被害者である。始めて電話で話す彼女は、やっと加害者から逃げられた(加害者は暴行事件で勾留中だった。)という安堵と、しかし何時現われるかもしれないという恐怖の中、ある相談機関にこれからの事について相談に行ったが、うまくいかなかったらしい。彼女は悲痛な声で、「これからどうしたらいいのかわからない。誰も解ってくれない。」と一方的に話す。近頃は、あらゆる相談機関が相談者の身になって話を聞いてくれる。しかし相談者がかなり感情的になっている場合、1対1ではうまくいかない場合もある。当然、私自身にもいえることである。

電話で話を聞いていたが、中々気持ちが掴めないで、センター内で話し合い、面接相談をすることにした。その日の内にセンターを訪れた彼女は、首は補装具で固定され、顔はむくんで腫れていた。電話だけで彼女の気持ちを受け入れることは、到底難しいことがよく解った。この様な状態で、相談に訪れてくれたことを労い、彼女の気持ちを改めて聞く。彼女は溜めていた感情を吐き出していくうちに落ちついていった。私は、彼女の今まで抜け出したくても抜け出せなかった苦悩を受け止め、これからの事について話し合った。その結果彼女は、自分が感情的だったことを認め、もう一度、相談機関に私も付き添うという条件で、相談に行くことにした。相談の時の彼女は冷静で、相手の話もよく聞いて、彼女なりに答が出たようである。相談後、「前回と同じ相談だったのですが、付き添ってもらったことできちんと話が出来ました。あの時はどうかしていたのでしょうか。」と彼女は話した。誰でもあの状態で、冷静になれとは難しい。改めて付き添うことの大切さを感じた。

彼女にはその後も、何回か他の相談機関に付き添ったが、その事でセンターとしても他の相談機関との連携も計れるようになった。

彼女にはまだ解決しなければならない問題はあがあるが、1つ乗り越えたことで、彼女自身強くなったようである。

そして、久しぶりに聞く彼女の声は、私自身への励ましの声となって残っている。



## 平成21年度 九州・沖縄ブロック研修会に参加して

去る7月4日、5日の2日間、全国被害者支援ネットワーク主催による九州・沖縄ブロック研修会が、宮崎県宮崎市内の宮崎犯罪被害者支援センターで開催された。全国被害者支援ネットワーク理事長の山上皓氏をはじめとして総勢43名の支援員の方々が各県から集まり、5年以上の経験を有する方も多数おられ、真剣で熱のこもった意見交換がなされた。まだ支援ボランティアとしての経験が1年足らずの私は、最初、嬉しい気持ちとちょっぴり不安な気持ちが入り混じり、緊張していた。しかし、いざ始まってみると、活気に溢れ目的意識を持った生き生きとした参加者の皆さんの温かな雰囲気になんか包まれ、自然に受け込み居心地の良さを感じている私がいた。

研修会の内容については、直接支援のひとつである裁判所など関係機関への同行支援プラン作成の目的や要領についての講義を中心に、全国被害者支援ネットワークの活動内容や、被害者支援の歴史、現状、課題の説明、さらに宮崎県弁護士会犯罪被害者支援委員会の3名の弁護士によるわかりやすくユーモアに満ちた「犯罪被害者支援に必要な法律基礎知識」の解説、かごしま犯罪被害者支援センター理事長久留一郎氏の被害者支援に求められるもの(～トラウマケアとかわりりのありよう～)と題した講演、同じくかごしま支援センターの事例検討など、あらゆる角度から豊富な教材が準備されていた。初めて参加した私には、これまで学んだことを更に深め、支援員としての責任の重大さをあらためて自覚する場となり、大変有意義で感慨深い研修会となった。このような機会を与えて下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいである。

長崎被害者支援センターが、昨年12月、犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けたことから、今後ますます犯罪被害者支援組織としての役割が高まり、支援ボランティアの力がこれまで以上に求められることだろう。そのために、日々研鑽を積み、質の向上に努める覚悟である。そして、支援センターが、犯罪被害者及びその家族・遺族に対して充実した精神的ケアを行うことができ、社会全体の被害者支援意識の高揚を図ることにより、被害者の被害の回復や軽減を目的とした団体として多くの信頼を得ることで新たな支援の輪が広がり、一層活性化し、発展していくことを心から願っている。

## 長崎被害者支援センター役員紹介（平成21年8月1日現在）

役名	氏名	勤務先及び役職名
理事長	塩飽 志郎	弁護士
副理事長	山本 奏子	
〃	前田 和明	臨床心理士：精神保健福祉士
理事	永田 吉朗	税理士
〃	川添 志	弁護士
〃	永田 耕司	長崎活水女子大学教授(医師：臨床心理士)
〃	大西 由紀子	弁護士
監事	中野 明人	長崎短期大学教授
〃	松永 公隆	長崎純心大学准教授(社会福祉士)

## 会員拡充、財源確保のため県内企業、団体を訪問予定

「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受け、早い段階での積極的な支援活動に努めていますが、今後とも、長期的、継続した支援を行うためには、今まで以上に強固で安定した財政基盤が必要であり、併せて、来年度からは関係団体からの助成金が終了するなど、非常に苦しい財政面の打開のため、新規会員の拡充と寄付金等の確保のために県内の企業、団体等を訪問することとしています。

## 県内に募金箱を設置

今回、全国被害者支援ネットワークを通じ、財源確保のため、募金箱を作成しましたので、

『設置にご協力できる方』のご紹介をお待ちしています。



ご連絡は事務局 ☎095-820-4978までお願いします。※「長崎被害者支援センター」の名称入り

## 広報時の配布グッズのご提供、ご協力をお願いいたします。

当センターでは、年間4000人～5000人の方にチラシ・リーフレット・グッズ等を配布しております。グッズを提供していただければ袋詰め・配布はセンターが責任を持って行いますので商品や企業の効率的な宣伝にもつながると思います。詳細は事務局までお問い合わせください。※また、前回のニュースレターでもお願いをしておりましたが、引き続き、

- ①未使用切手・書き損じはがきをお願いします
  - ②リーフレットの設置及びポスターの掲示場所をご提供ください
  - ③企業研修や自治会勉強会等で「犯罪被害者支援について」の勉強会を開催される場合はリーフレット等や被害関係の人形劇等のDVDの提供もいたします。(詳細は事務所まで)
- なにとぞ協力の程、よろしくをお願いいたします。

## 賛助会員・ご寄付募集

長崎被害者支援センターの活動を支えてくださる賛助会員を募集しています。私たちの活動は、賛助会員の会費や寄付金で成り立っています。ご賛同いただける新規会員の入会またはご寄付をお待ちしています。

賛助会員(年会費)

個人 10 年3,000円  
団体 10 年10,000円(何口でも結構です)

振込口座(郵便振替)

口座番号:01730-8-102986  
加入者名:長崎被害者支援センター



\*\*\*\*ご寄付は、金額にかかわらず随時受付けております\*\*\*\*  
(会報へのご芳名掲載を希望されない方は、通信欄にその旨記載をお願いします)

<http://www.nagasaki-vs.jp/keita/>